

北野天満宮所蔵の重要文化財《鬼切丸 髭切》
太刀拵え奉納プロジェクトに、生活造形学科 前崎信也教授とゼミ学生が参画
～「都市鉾山」由来の金属や北野天満宮の古材を活用、
最先端技術と高度な職人の技を融合した、唯一無二の「令和の拵え」を制作します～
11月29日(水) 12:00からクラウドファンディング開始
<https://camp-fire.jp/projects/719400/>

京都女子大学(所在:京都市東山区/学長:竹安 栄子)は、家政学部 生活造形学科 前崎信也教授と同ゼミの学生達が、北野天満宮所蔵の最古の刀で《鬼切丸 髭切》(重要文化財)の失われた「拵え」(こしらえ)を令和の技術で新たに制作し奉納するプロジェクトへ参画しますので、お知らせします。

また学生が主体となって運営するプロジェクトのクラウドファンディングを、2023年11月29日(水)12時よりスタートします。

『鬼切丸 髭切』太刀拵え奉納プロジェクト実行委員会は、2027年の菅公御神忌千百二十五年半萬燈祭に合わせ、重要文化財《鬼切丸 髭切》の唯一無二の太刀拵え制作プロジェクトを行います。



武芸の神・技芸の神としての菅原道真公(菅公)を顕彰し、一人でも多くの方にこのプロジェクトを知っていただくために、クラウドファンディングサービス「CAMPFIRE」を使って当プロジェクトの普及と達成に挑戦いたします。

募集期間は2023年11月29日(水)から2024年1月25日(木)で、募集金額は1,500万円を目指します。

◀前崎ゼミの学生が制作、運営するクラウドファンディングのメインビジュアル

▼失われた《鬼切丸 髭切》の太刀拵えを新たに制作。

「拵え」(こしらえ)とは刀身を納める鞘(さや)、手で握る柄(つか)、柄を握った時に手が刀身の方へ滑らないように施す鐔(つば)などの刀身の外装のことです。太刀《鬼切丸 髭切》には、残念ながらこの「拵え」が伝わっておりません。

今回のプロジェクトでは「超絶技巧」と称される技術を有したKOGEI Next所属の作家が参画します。彼らが有する現代最高の技術を使って、令和の時代にしか作ることのできない唯一無二の「拵え」を制作し、半萬燈祭に先立つ2026年春に北野天満宮に奉納いたします。

KOGEI Nextが進めている活動の一つに「都市鉾山」由来の金属の使用など、アート・工芸素材の循環への取り組みがあり、今回のプロジェクトでは携帯電話やPCで情報伝達のために使われていた金や銀をリサイクルして使用します。また、北野天満宮で進めている境内整備の過程で出た木材や金属などの古材も制作に使用する予定です。こうして、過去と現在がひとつとなる「拵え」の誕生を目指します。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク(プランニング・ポート内) 福嶋・小宮 Tel: 06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 北山・堀川・竹縄 Tel: 075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

▼クラウドファンディングの返礼品について

(1) 未来へ受け継がれる奉納箱・奉納目録へのお名前の掲載

本プロジェクトにご支援いただいた全ての方のお名前は《鬼切丸 髭切》拵え奉納箱、もしくは奉納目録に記載させていただき《鬼切丸 髭切》と共に歴史に遺ります。

(2) 今回のクラウドファンディングでしか手に入らないオリジナル記念品

・北野天満宮初の試みとして等身大押形を作成します。そして、今回限りのオリジナルデザインのポストカード／クリアファイル／梅茶／刀剣しおりなどをご用意しました。これらのデザインはすべて京都女子大学の前崎ゼミの学生によるものです。



オリジナルデザインのクリアファイル(左)とポストカード(右)

・今回のプロジェクトに合わせて『北野刀剣図録』（2024 年末完成予定）と『鬼切丸 髭切太刀拵え奉納プロジェクト記念図録』（ドキュメンタリー図録；太刀拵えの制作過程から奉納式までを収録して 2026 年末完成予定）を制作いたします。お礼の品にいずれかの図録を選んでくださった方のお名前を、ご支援いただいた図録に掲載させていただきます。

・《鬼切丸 髭切》太刀拵えの制作に関わる KOGEI Next の漆芸職人集団・彦十蒔絵からは、北野天満宮から出た古材を使用したオリジナルデザインの梅皿、仙型椀、ぐいのみを数量限定で提供します。



北野天満宮の古材を使用した彦十蒔絵の仙型椀(左)とぐいのみ

(3) 各種行事へのご招待

2026 年春に予定している《鬼切丸 髭切》太刀拵え奉納式へのご招待ほか、神職による北野天満宮ご案内、《鬼切丸 髭切》手入れ見学会、アドバイザーの刀剣専門家 原田一敏先生による《鬼切丸 髭切》鑑賞会など、貴重な体験をできる機会をたくさん提供しております

▼CAMPFIRE 内プロジェクトページについて (2024 年 1 月 25 日 23:59:59 まで)

<https://camp-fire.jp/projects/719400/>



▼『鬼切丸 髭切』太刀拵え奉納プロジェクト実行委員会 について

【北野天満宮】

北野天満宮は菅原道真公（菅公）を御祭神としておまつりする全国約 1 万 2000 社の天満宮・天神社の総本社です。古来「北野の天神さま」と親しまれ、入試合格・学業成就・文化芸能・災難厄除祈願のお社として幅広く信仰されてきました。千年以上の歴史の中で数多くの宝物が奉納されて今に伝えられています。刀剣は約 100 振りあり、《鬼切丸 髭切》を含めた 5 振りが重要文化財に指定されています。

【京都女子大学 前崎研究室】

京都女子大学生生活造形学科では多彩なデザイン活動を行っています。本プロジェクトでは、KOGEI Next のアドバイザーであり、工芸文化史が専門の京都女子大学生生活造形学科教授 前崎信也と、前崎ゼミでデザインとアートマネジメントを学ぶ大学生が《鬼切丸 髭切》の拵え制作、クラウドファンディングの運営、リターン品のデザインや発送、SNS での広報等をサポートします。

【KOGEI Next】

100 年後、現代の工芸が古美術品となった時、令和の空気を伝えられる作品とはどのような作品でしょうか？KOGEI Next は、工芸作家とこれまで関わりの薄かった現代社会が重なることで生まれる作品や活動、自然環境や社会課題との関わりを通じて、モノとしてだけではない新たな価値を持った工芸の次のすがたを実現させる運動です。

主 催 : KANEGAE、株式会社クロステック・マネジメント

協 賛 : 株式会社ゴールドウイン

パートナー : 京都芸術大学、京都女子大学、一般社団法人アートハブ・アソシエーション、ArtSticker、ONBEAT、画箋堂、計数技研、Think & Craft、startbahn、DESIGNART TOKYO、和の響き

アドバイザー : 山下裕二（美術史家、美術評論家）

広瀬麻美（浅野研究所・代表取締役）

前崎信也（京都女子大学・教授、工芸史家）

URL : <https://kogei-next.jp/> YouTube : <https://www.youtube.com/@kogeinext8128>

Instagram : <https://www.instagram.com/kogeinext/>

【彦十蒔絵】

KOGEI Next 結成時からプロジェクトに参加している輪島在住の約 20 名の職人からなる漆芸のスペシャリスト集団。日本が誇る数千年の漆芸技術を用いて、伝統的な意匠や文様の継承を考えながら、新しい作品を企画・制作を行なっています。彦十蒔絵を主宰する若宮隆志は、2014 年文化庁文化交流使としてエジンバラ、ロンドン、パリ、マルセイユ、中国北京、香港など漆を通して文化交流を行うなど、漆の技術研究開発及び啓蒙活動を行い、漆器の市場開拓、海外発表なども積極的に展開しています。彦十蒔絵は今回の太刀拵え制作の装飾を担当します。

彦十蒔絵 HP : <https://hikoju-makie.com/> Instagram: https://www.instagram.com/hikoju_makie/

【アドバイザー】

太刀拵えの制作については、日本刀剣史がご専門の原田一敏氏（東京藝術大学名誉教授・ふくやま美術館館長・元東京国立博物館学芸部金工室長）にアドバイザーとして参画いただきます。